



～認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して～



## 認知症の症状について



認知症とは、加齢による脳の病的な変化や病気などが原因で、脳の細胞が壊れたり働きが低下することによって様々な障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態を指します。

認知症の症状は、「中核症状」と、中核症状がもとになって引き起こされる「行動・心理症状」に分けられます。

### 1. 中核症状とは

脳の細胞が壊れたり働きが低下することによって、直接的に起こる症状のことです。中核症状の程度には個人差があり、時間の経過とともに進行します。

中核症状には、主に下記の4つの障害があります。

中核症状	具体的な症状
記憶障害 (もの忘れ)	約束したこと自体を忘れてしまう。 物の置き忘れ、しまい忘れが頻繁に起こる。
見当識障害 (時間・場所などが分からなくなる)	時間や日付、季節の感覚が薄れる。 道に迷ったり、遠くに歩いて行こうとする。
理解力・判断力の障害	電化製品、銀行のATMの操作ができなくなる。 運転の操作ミスが多くなる。
実行機能障害 (身の回りのことができなくなる)	仕事や家事・趣味の段取りが悪くなる。 身だしなみをかまわなくなる。

(裏面に引き続き内容を掲載していますのでご覧ください。)

ためして脳トレ!

(問題)漢字を組み合わせ  
て二字熟語を完成させましょう。

空間認識力、  
発想カトレーニング



- |             |             |
|-------------|-------------|
| ① 糸 本 会     | ② 己 日 言     |
| ③ 言 日 十 寺   | ④ 羽 糸 白 東   |
| ⑤ 十 月 十 日 日 | ⑥ 口 糸 口 色 口 |
| ⑦ 見 子 立 木   | ⑧ 里 王 周 言   |
| ⑨ 口 糸 白 口 水 | ⑩ 五 言 勿 牛 口 |

※答えは裏面にあります。

いつでも脳トレ!

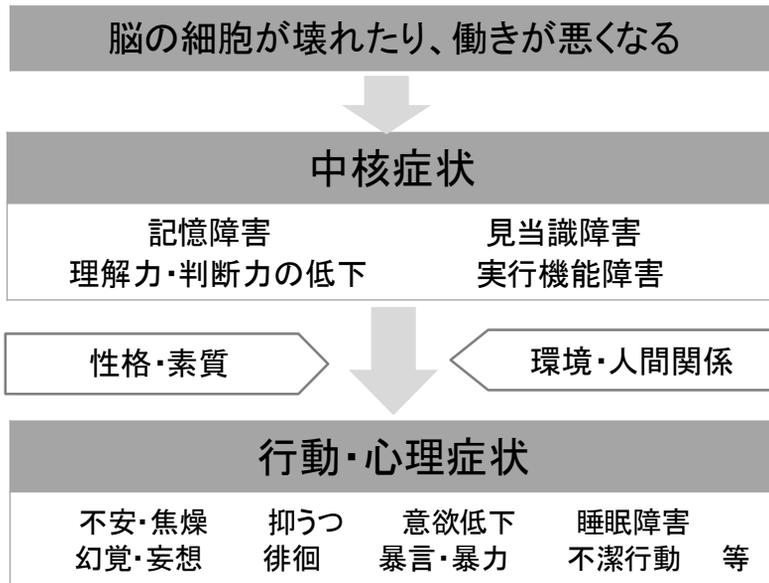
意識的にいろいろな人とおしゃべりする機会をもちましょう!

おしゃべりは脳をフル回転させます

## 2. 行動・心理症状とは

中核症状がもとになり、本人が元々持っている性格や素質、周囲の環境、人間関係などの要因が絡み合って、二次的に現れる症状のことです。日常生活を送る上で支障が出る行動や精神症状等が現れますが、その症状の現れ方は個人により異なります。

## 3. 中核症状と行動・心理症状の関係図



## もの忘れ相談会(無料・要申込)を行います

日 時 : 6月8日(木) 13時~  
場 所 : 岸本公民館  
対 象 : もの忘れなどが気になる方  
(※ご家族だけでの相談も可能)  
内 容 : 相談医による個別相談  
申込締切 : 6月5日(月)



「もの忘れの相談をしたい」  
「専門医療機関には行きづらい」  
などお悩みの方も、ぜひ  
この機会にご相談ください。

★詳しくは広報ほうき6月号のP. 7をご覧くださいか、伯耆町役場 健康対策課 生活相談室  
(Tel0859-68-5535) までお問い合わせください。

## 過去のオレンジガイドがホームページで見られます

これまでに発行されたオレンジガイドを、伯耆町ホームページで見ることができます。ぜひ、ご覧ください！



過去のオレンジガイドはこちら

**【認知症や高齢者の相談窓口】伯耆地域包括支援センター Tel0859-68-4632**